

道徳教育の全体計画

【今年度の重点目標】 自らとりくむ みんなでつくる

- I 温かな人間関係の構築と個に応じた支援で、自分を大切にし、他者を大切にする気持ち（自尊感情）を育てます。
- II 多様な人・モノ・コトのかかわりを深める豊かな体験の場を設定します。
- III 情報発信や意見交換、教育相談の機会を捉え、家庭や地域、関係者と協働して教育活動を進めます。

【目指す子どもの姿】 思いやりと自尊感情をもち、自ら心を耕し向上させる子

【道徳教育における重点目標】

- 相手の気持ちを考えて進んで行動する子の育成【重点項目：親切，思いやり】
- 進んで気持ちの良いあいさつをする子の育成【重点項目：礼儀】

各発達段階における具体的な目標

項目	低学年	中学年	高学年
親切， 思いやり	身近にいる人に温かい心で接し，親切にする。	相手のことを思いやり，進んで親切にする。	誰に対しても思いやりの心をもち，相手の立場にたって親切にする。
礼儀	気持ちのよい挨拶，言葉遣い，動作などに心掛けて明るく接する。	礼儀の大切さを知り，誰に対しても真心をもって接する。	時と場をわきまえて，礼儀正しく真心をもって接する。

重点的取組事項

- (1) 心を見つめる“心耕”活動の実施
：体験活動と肯定的なふり返りを通して，他者とよりよく生きるよさを知る。
- (2) 人権教育，同和教育の実施
：人権教育，同和教育の学習を通して，自他共の人権を大切にする態度を身に付けさせる。
- (3) あいさつの推進
：あいさつ運動を継続的に行い，あいさつをする気持ちよさや重要性を知る。

○ 具体的方策

特別の教科 道徳	特別活動	各教科	家庭・地域等との連携	その他
<ul style="list-style-type: none"> ○道徳的諸価値の理解を基に，考え議論する学習を計画的に行う。 ○「生きる」や県教材(「いのちのあさがお」など)を活用する。 ○ノート等を活用し，児童の変容を適切に記録・評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級や縦割り班，委員会の活動の中で，仲間のために自分ができることを実施させ，自己有用感を向上させる。 ○活動後のふり返り活動を行い，自分のよさや他者のよさを見つけ表現する場を設定する(作文やスピーチ，対話等)。 ○現代的な課題である「情報モラル」の学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の考えを生かす授業を工夫する。 ○一人一人の意見を認め合う雰囲気を作る。 ○思いやりの心を基盤にした授業展開を工夫する。 ○体験活動を積極的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業参観で道徳の授業を公開する。 ○地域の人々から学ぶ活動や地域とかわる活動を積極的に実施する。 ○家庭における「お手伝い」の実施を啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等と連動した年間指導計画を作成する。